（様式2-1）

2025年度　バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	西武鉄道株式会社

本年度整備費	6,881 百万円

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	3 駅	9 番線	保谷駅、東村山駅、新所沢駅
内方線付点状ブロック	1 駅	2 番線	正丸駅
段差隙間縮小に資する設備	2 駅	4 番線	高麗駅、正丸駅
運行情報提供設備		15 駅※1	椎名町駅、東長崎駅、江古田駅　他
その他		1 駅※2	競艇場前駅
備考	※1：一部改札口整備済で未整備改札口へ整備する駅を含む。 ※2：その他：視覚障がい者用設備(触知案内板・音声案内等)		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		9	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

本年度徴収額	4,543 百万円		
（内訳）			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 （百万円）	2,178	2,365	0
備考			

本年度までの累計整備費	15,876 百万円
本年度までの累計徴収額	13,508 百万円

（様式2-2）

2025年度　バリアフリー整備等実績

整備実績

（1）設置・改良費

設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	4 駅※1,3	13 番線※1,3	保谷駅(継続)、東村山駅(継続)他	4,388 百万円※2,4
内方線付点状ブロック	1 駅	1 番線	正丸駅(新規)	- 百万円※5
段差隙間縮小	3 駅※1	6 番線※1	高麗駅(継続)、正丸駅(新規)他	526 百万円※2
運行情報提供設備		15 駅	椎名町駅(新規)、東長崎駅(新規)他	125 百万円
その他		1 駅※6	競艇場前駅(新規)	3 百万円
備考	※1：過年度供用開始の残工事実施駅を含み、次年度以降供用開始予定駅を含まない。 ※2：過年度供用開始の残工事費用と次年度以降供用開始予定の整備費を含む。 ※3：新設工事駅、既設ホームドア改良工事駅を含み、定位置停止装置(TASC)整備駅を含まない。 ※4：新設工事費、既設ホームドア改良工事費、定位置停止装置(TASC)整備費を含む。 ※5：段差隙間縮小の整備費に含む。 ※6：その他：視覚障がい者用設備(触知案内板・音声案内等)			

（2）更新費

設備名	整備数		整備駅名	整備費
エレベーター	0 駅※7	0 基※7	-	22 百万円※8
エスカレーター	4 駅	8 基	練馬駅(継続)、小手指駅(継続)他	416 百万円
その他		16 駅※9	東長崎駅(新規)、江古田駅(新規)他	466 百万円※9
備考	※7：次年度以降供用開始予定駅を含まない。 ※8：次年度以降供用開始予定の整備費を含む。 ※9：その他：運行情報提供設備（行先表示器含む）			

（3）維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）

維持管理費	929	百万円※10
収受システム改修費	2	百万円
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	0	百万円※11
備考	※10：エレベーター、エスカレーター、ホームドア、運行情報提供設備(行先表示器含む)等 ※11：料金収受終了に伴う費用は計上していない	

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

（様式2-3）

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 （移動等円滑化された経路が設けられている駅数）			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	1駅	100%	0駅	0%
2024年度	6番線	40%	0駅	100%	0駅	0%
2025年度	9番線	100%	0駅	100%	0駅	0%
累計	15番線	100%	1駅	100%	0駅	0%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成
※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

（様式3-1）

2021年度～2025年度　バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	西武鉄道株式会社

期間中の総整備費	15,876 百万円
期間中の総徴収額	13,508 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）

設備名	計画数		整備数		進捗率	
ホームドア	5 駅※1 (9 駅※2)	15 番線※1 (24 番線※2)	5 駅※1 (5 駅※2)	15 番線※1 (15 番線※2)	100	% ※1
スロープ	1 駅	1 ヶ所	1 駅	1 ヶ所	100	%
内方線付点状ブロック	3 駅	6 番線	3 駅	6 番線	100	%
段差隙間縮小に資する設備	4 駅	8 番線	4 駅	8 番線	100	%
運行情報提供設備	32 駅※3		32 駅※3		100	%
その他		1 駅※4		1 駅※4	100	%
備考	※1：ホームドア新設(5駅15番線)の計画数と供用数を記載。 ※2：ホームドア新設のほか既設ホームドア改良(4駅9番線)も含めた計画数と供用数を記載。なお、既設ホームドア改良は2026年度以降の供用開始を予定。 ※3：一部改札口整備済で未整備改札口へ整備する駅を含む。 ※4：その他：視覚障がい者用設備(触知案内板・音声案内等)					

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数

ホームドア設置番線数		15	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	1	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

（様式3-2）

2021年度～2025年度　バリアフリー整備等実績

整備実績

（１）設置・改良費

設備名	整備数		整備費
ホームドア	5 駅※1,3	15 番線※1,3	7,019 百万円※2,4
スロープ	1 駅	1 ヶ所	- 百万円※5
内方線付点状ブロック	3 駅	6 番線	- 百万円※5
段差隙間縮小	4 駅※1	8 番線※1	1,442 百万円※2
運行情報提供設備	32 駅※6		288 百万円
その他		1 駅※7	3 百万円
備考	※1：2026年度以降供用開始予定駅を含まない。 ※2：2026年度以降供用開始予定の整備費を含む。 ※3：ホームドア新設駅、既設ホームドア改良駅を含み、定位置停止装置(TASC)整備駅を含まない。 ※4：ホームドア整備費、既設ホームドア改良費、定位置停止装置(TASC)整備費を含む。 ※5：段差隙間縮小の整備費に含む。 ※6：一部改札口整備済で未整備改札口へ整備する駅を含む。 ※7：その他：視覚障がい者用設備(触知案内板・音声案内等)		

（２）更新費

設備名	整備数		整備費
エレベーター	各　　駅	8 基※8	399 百万円※9
エスカレーター	各　　駅	34 基	1,411 百万円
その他		各 駅※10	1,413 百万円
備考	※8：2026年度以降供用開始予定駅を含まない。 ※9：2026年度以降供用開始予定の整備費を含む。 ※10：その他：運行情報提供設備（行先表示器含む）		

（３）維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）

維持管理費	3,648	百万円※11
収受システム改修費	6	百万円
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	243	百万円※12
備考	※11：ホームドア、エレベーター、エスカレーター、運行情報提供設備(行先表示器含む)等 ※12：料金収受終了に伴う費用は計上していない	

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

（様式3-3）

2021年度～2025年度　バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針
・ホームドア新設、スロープ、内方線付き点状ブロック、段差隙間縮小に資する設備、運行情報提供設備、 視覚障がい者用設備(触知案内板・音声案内等)などは、整備等計画通りに整備を実施した。 ・ほか、引き続き既設ホームドア改良、ホームドア新設、定位置停止装置(TASC)整備など、2026年度以降の 供用開始を目指し、運賃収入等を活用し整備を進めていく。